

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第333号 平成12年9月



稲垣壯太郎

目 次

	頁		頁
1) 旅行記		6) 各部だより	
ローマでのこと	堤 次雄 … 2	学術インフォメーション	学術部 … 14
アフリカに家族で旅する	片平潤一 … 4	市民健康講座	広報部 … 16
2) 私の一冊	松原貞一 … 10	フォトコンテスト募集	広報部 … 17
3) 新入会員紹介	広報部 … 11	「室内楽ふれあいコンサート」 へのお誘い	広報部 … 18
4) 文芸随筆諸事百般		7) 理事会報告	広報部 … 20
短歌 盛夏	鹿野純一 … 12	8) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 22
5) 地区だより		9) お知らせ	事務局 … 23
青梅地区	田中穂積 … 12	10) 表紙のことば	稲垣壯太郎 … 23
羽村地区	横田卓史 … 13	11) あとがき	清水佐和道 … 24

旅行記

ローマでのこと

堤 次 雄

ローマの夏は暑いと聞いていたが、確かに日中の暑さはかなりのものだった。だが、皮膚のべたつきがないだけ日本の夏より楽だと思った。パチカン美術館に入場する時、観光客の行列ができた。私の後に並んだフランス人男性が、「暑いなあ、喉が乾いたよ」と、奥さんに言っていた。水を持っていないのだ。

私は彼に、「どうぞ」と、ミネラル水の壺を渡した。彼は「メルスイ」と、礼を言い旨そうに飲んだ。私は、「人助けをしたなあ」と、オーバーな自己満足感に浸ったのだった。

私にとって外国の旅では、こんな些細なことでもよい思い出の一つなのである。私達は旅ではよく歩くのでリュックの中には、必ず2、3本のミネラル水の壺を入れている。

私達の宿は、テルミニ駅と古い建造物で格式の高いサンタ・マリア・マジョーレ教会堂の間くらいにあって出歩きの拠点として都合がよかった。テルミニ駅といえば、もう50年近く前になるが、終着駅のタイトルの映画が上映された。旅をしていた美貌のアメリカ人の人妻がローマの青年に恋されて別れの時、テルミニ駅の列車の中での激しい愛の場面は、この映画を見た当時の金欠症で、低脂血症、低血糖のだらんとしていた若者を、一時であったが興奮で目をらんらん輝かせたのだった。当時の若者達も私を含めて今は、孫のご機嫌をとって喜んでいる、オ爺ィ、になっているのだ。時がたつのは早いものである。

朝、早めに宿を出た。賑わいをみせる朝市を見物しながら、観光のお決りコースのスペイン広場を訪れた。広場のスペイン階段を上るのは疲れるので省略し、階段の一番下の段に腰をおろした。最上にある教会や、訪れている人達を眺めたりして暫く休んだ。

スペイン広場を出ると、近くに高級ブティックが並ぶ通りがあるが、妻を急かせてトレビの泉に行った。朝のせいか、客はまだ少なかった。水面をじっと覗いている一人の中年の婦人がいた。泉にコインを投げ入れた後、願いごとの成就を祈っていたのだろうか。彼女が妻に話しかけてきた。

「あたし、ポーランドから来たの。あなたは？ やっぱりローマに来てよかったわ」旅好き同志の会話はこんなものだったのだろう。

その頃の東欧は、ごたついていたから西側への旅は大変だったろうに。よく出国できたな、と思った。今は東欧は、EUだし何の制約なしに旅に出られる。よき時代になった。

宿に戻るべくトレビの泉を離れて坂道を歩いたが、いささか疲れ腹も減り、途中でカフェ・レストランに入った。「ボンジョルノ」と言うと、髻面の格好よいボーイが出てきて、明るい声で「スママセーン」と日本語で言い道端のテーブルに案内した。妻が「あなたは、日本語お上手ね」「センス、キョート、カラテ、スコシネ」と答えた。京都から来た先生に空手を習ったがその時少し日本語も覚えた。とのことであろう。彼は日本人の客には、「スママセーン」の一本槍で対応してい

るのだろう。

頼んだスパゲティ・ボンゴレ（あさり）を「スミマセーン」と運んできたが、あさりも大きく、ボリュームたっぷりだった。安物の白ワインを飲みながら食べたが、本場ものはやはり旨い。私は、「すみませーん、勘定、旨かった」と、好感の彼に少し多めのチップを置いてきた。

レストランを出て直ぐに右折して真すぐに進むと、サンタ・マリア・マジョーレ教会の方に出る。その道を歩いていると、三人の小さな子供を連れた小柄な若い女性が私の方に寄ってきて、何やら眩き手を差しだしたと思ったら、さっと私の左の上腕を掴んだ。ジブシー女だった。私は、「ノー」と言いながら歩を早めた。3・4秒で彼女は手を離したが、その握力の強さは大したものだった。10mも歩くと、横丁からまた別の細面のジブシー女が来て、同じように左上腕を強い握力で掴まれたが、「ノー、ノー」で歩みを止めずに無事通過した。妻が、「あなたはニヤニヤして、ノーと言うから寄ってくるのよ、厳しい顔で語気を荒く、ノッ、とやらないとだめ。あたしがノッ、と言うと全然寄りつかなかった」と勝ち誇った顔で言われてしまった。

ジブシー女は、もっと汚い格好しとるのかと思っていたが、細身で小柄、顔もまぶさず、民族調で赤系の長めの衣裳を着てサンダルを履いていた。私には小綺麗にさえ見えた。

ジブシーは放浪族で、インド、トルコ、欧系、とあるそうだが、私が会ったのは、イタリア系だろう。私は今までの人生で、女性に言い寄られて手を握られた経験はない。このトシになって子持ちとはいえ若いジブシー女に腕を握られたのだ。それも強く。ジブシー女だっていいじゃないか、いい体験をしたと思っている。彼女達の握力は大したものだ。

忘れられない思い出になった。

サンタ・マリア・マジョーレ教会の前に来た時、私は八の字髭の交通警察に手招きされた。何だろう、と行くと「あんたね、カメラを肩にかけとるが、それは危ないよ、首からかけなさい、しっかり両手で押えて歩きなさい」。彼は一言も喋らず、チェスチャーだけで注意したがよくわかった。「ボンジョルノ、有難う」と礼を言うと八の字髭の顔がニヤリとしたのだった。

(1992年、イタリアの旅から)



アフリカに家族で旅する

片 平 潤 一

「アフリカに行った者は必ず戻る」と言われています。水越恵子さんという歌手が「アフリカ」という曲の中で、

♪遠い地平線 乾いた草木も 目覚めた時のまま
 陽炎の向こう 大地を溶かして 狂おすよ太陽
 ねえ 思い出して ジープを走らせ赤土の彼方へ
 長い夢だった 子供の頃から まぶしいアフリカ
 きっと行きたいのアフリカ どこまでも広い大地へ
 風にあおがれて そして 土に抱かれたいアフリカ……



と歌っています。アフリカの夢を見るといつも聴きたくなります。はじめてアフリカにいったのが20数年前。ケニアからの留学生と友達になり、彼の家に招待されてその後ケニアとタンザニアに旅行しました。それ以来アフリカの水に毒されたわけです。

医師会の皆様には世界各国を回られておられる方々も大勢いらっしゃると思いますが、まだまだアフリカに行かれた方は少ないと思います。そこで我々の家族旅行の紹介をさせていただき少しでもその気にさせたいと思います。

アフリカといっても大変広うございます。どこも大変魅力的ですがエジプトやチュニジアなどのアラブはまだ少し危険なようです（観光客減少のためか、エジプトに泊まってピラミッドなどを見てからケニアに入るツアーは大変お安くお買い得です。しかし案の定今回このコースは家内に大反対されました）。西アフリカはまだ日本人観光客は大変少なく、見所も整理されていないようです。フランス語国が多いのも難点です。南アフリカは以前から国立公園が整備されており動物の宝庫です。少し危険度が高いといわれていてしかも遠いのですが、今後は絶対オススメになるでしょう。マダガスカルはアフリカでもかなり特異な地域です。動植物の種類が全然違います。ジャングルですから風景もまた違います。そこで今の時点で、大草原を歩きながらライオンやキリンを見たい（サファリ旅行）という東アフリカのケニア、タンザニア、ウガンダ、それにジンバブエということになります。とくに観光という点から整備されているのはケニアですので日本人観光客も圧倒的です。つい最近、ケニアとタンザニアのアメリカ大使館が爆破されて多数の死者がでましたが、こうした大事件は多くはありません。しかし、ナイロビやモンバサといった大都市では比較的 안전한エリアと決して近付いてはならないエリアがあります。比較的 안전한大ホテルの近辺などでも欲求を刺激するような装飾品を持って歩いたり、ぶらぶらと1人で歩き回るのはさけた方がよいといわれています。しかしたとえばローマやスペインで集団スリにやられたり、危険な目にあったという人が私の回りにもたくさんいますが、アフリカがそれ以上に危険ということはないと思います。注意しながらおおいに好奇心を發揮して下さい。ただしサファリ旅行中は国立公園という動物放し飼いの中にいますので、ロッジや車から歩いて出たりすると大変危険です。

一昨年の夏、家族5人でケニアサファリ旅行を楽しみました。子供がまだ小学生ですので、外国

旅行でただ風景を見て回るだけでなく自分達が参加できるということこれがぴったりと思えました。7月19日成田からエア・インディアで出発。日本からケニアまでは直行便がありません。北回りでロンドンで1泊してナイロビに向かうのが最も速くて21時間かかります。我々は南回りでインドのボンベイ（ムンバイ）で1泊しました。家族で外国旅行というとお金がかかりますが、とくに航空運賃が決め手です。どこの航空会社を使うかで決まりますが、南回りは北回りより20万円くらい安い場合もあります。我々はジャパン・ネットワーク・ツアーズというアフリカ得意の旅行業者の11日間のツアーにしたのですが、これが破格値でしかもケニア国内では我々1家族のみの行程になり、やや不安ながらも大変な自由だと家族で喜び合いました。旅行業者はたくさんありますが、やはりそれぞれ得意分野があり、特にアフリカはその傾向が強く、大手の会社は安心感はあるものの「丸投げ」のためにかなり高価格になります。

10時間余りで着いたボンベイは雨期で蒸し暑くも、空港も街も極めて雑然として路上生活者がたくさんいます。ホテルは贅沢なものでしたが、食事がカレーづくしということもあってか、家族からは「次は絶対ボンベイには来ない」と大不評でした。インドは好き嫌いが極端に分かれます。さらに7時間ほどでケニアのナイロビ（ジョモ・ケニヤッタ国際空港）に到着。うっかりしているとポーターのような人がさっさと手荷物を運んでいきます。なんて親切なと思っているとしっかりお金を要求されます。自分で運ぶからいいと拒否しないといけません。ホテルはインターコンチネンタルで特に文句もなし。夜はナイロビ郊外の観光客向け焼き肉（ニヤマ・チョマといいます）レストランでいろいろな動物の肉を食べます。キリン、シマウマ、ワニ、ガゼルなどなど、ガイドに禁猟ではと聞くと、公園から迷い出てきたのをとっているんだとウインクします。ケニアの焼き肉は正直いってあまりおいしくありません。まず焼き過ぎ。味付けがないのでどれも似た味がします。レストランは賑やかでよいのですが、とにかくたいへん寒くてふるえながら食べました。実は7月はケニアでは乾期で冬に当たります。しかもナイロビは高地にありますから夜は6度くらいまで下がることもあります。お正月頃に行くともっと暑いのですが、しかし雨期で道路が冠水していてトラブルとなります。



ニヤマ・チョマを食べる

ここでサファリに行く時の注意点をいくつか。1つには猛烈な土煙の中を立て付けの悪い車で走りますので服装はGパンにTシャツなどのラフなものにします。しかし温度差や蚊のことを考えて長袖やセーターを重ね着できるようにします。足元はウォーキングシューズで。ただし、大変高級なホテルもありますので、Gパンでディナーはどうも考えられる方はジャケットを1着どうぞ。荷物は大きくなって構いません。2つには感染症予防ですが、インド、パキスタン回りやタンザニア旅行では黄熱病の予防接種が必要です。（八重洲口の診療所まで行く必要があります。ただし10年間有効）。マラリアは低地では流行していますが、クロロキンやミノサイクリン、マロプリムなどどれも副作用が有り得ますので、絶対予防内服すべきとは言えません。私も1回目の旅行ではクロロキンを旅行中およびその後1か月間服用しましたが、2回目は家族共々服用しませんでし

た。夜間外出しないことや防虫スプレーを利用することで対抗しました。3つめにサファリはできるだけ若いうちに行かれることをお勧めします。飛行機と高級ホテルの組み合わせでゆっくり過ごすといった大名旅行もありますが、たいがいは大変な悪路を土煙の中、長時間ぶっとばしていくといった感じです。料理も馴染みのないものが多く日本食はありません。行き帰りの飛行時間もほかにはできません。

翌朝、我々家族専用の現地ガイドと運転手を紹介されて、8時にはホテルを出発。ガイドは日本語をよく話しかかなりの知識人です。最初の目的地はナイロビから北に向かいシャバ国立公園です。車はタウンエースのような日本製の10人乗りくらいのワゴン車です。途中ケニア第3の都市ナニユキを通りますが、道路は大変なもので大穴があちこちに開いていて、そのたびに車は道路を外れて大回りです。いわゆるインフラがめちゃくちゃで、商用車もほとんど通らず、ガイドはケニアは20年前よりもかえって悪くなったといいますが、私もそう思います。辺境の町イシオロでゲートがあります。ここから300キロくらいでエチオピア、ソマリアです。ケニアは主要道のあちこちで警官が怪しい車をチェックしています。ここでは端正な顔のソマリの女性にも会えます。



シャバのロッジ 夜はホテルもとびかいます

午後2時頃に公園のロッジに到着。河のそばにゆったりとした芝生がとってあり、コテージが点在しています。サファリでの楽しみの1つはロッジです。日本では考えられないような個性的で洒落た作りになっており、従業員も大変親切で陽気です。プールは回遊式の大変豪華なもので泳いでいる人も少なく、回りできちんと待機しているボーイさん達に悪いみたいです。河にはナイルワニが住んでいて夜の餌づけの時の迫力ある食べっぷりが人気です。ロッジの近くでカメレオンを見ました。20~30センチくらいで道を横切ろうとしています。1歩歩こうとするたびにからだ前後に揺れてなかなか進みません。あれじゃ道の途中で日が暮れちゃうねと子供たちと笑いました。

翌朝は車の屋根を開いてサファリに出かけます。この公園は肉食動物が比較的少ないせいか、観光客は極めて少なく、それがまた結構なことです。グレービーシマウマ（普通のより縞が細かくきれい）やアミメキリン（網目がはっきり）、ゲレヌク（小さいガゼル）などはここでしか見られません。サバンナの大草原をどこどこ道が縦横無尽に走っていて、運転手は記憶と勘を頼りに動物がいそうな所を捜します。なにしろ大変広大な無人の草原ですから、駄目な運転手だったら1日走っても動物に巡り会えないことになります。



グレービーシマウマ シャバで

この公園にはサンプル族という遊牧民が生活しています。定着はしているようなのですが、牛や山羊を引き連れて草を食べさせて歩いているのです。ある時車の上から100メートルくらい向こう

にサンプル族の子供が牛を追っているのを見て何気なくビデオを向けました。ところがすぐガイドから早くビデオを隠しなさいとせかされました。どうしたのかと思っていますと、間髪を入れずその子供がブッシュを大変なスピードでこちらに走ってきます。そしてガイドと2言3言話してい



シャバのロッジで サンプル族の人と鳥やサルを追い払っています

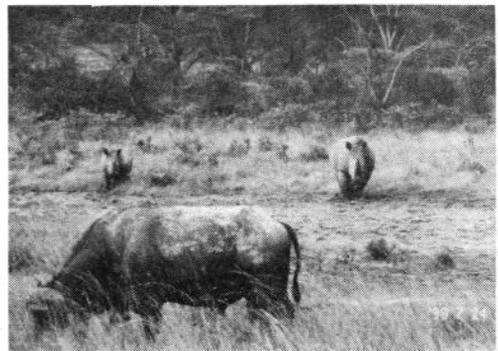
ましたが、しぶしぶという風で行ってしまいました。「写真をとったのではないか」といていたのだそうです。サンプル族は観光客に写真を撮らせてお金を請求するのだそうです。実際、観光客向けの部落があって、踊りや壺を作るのを見せているのですが、その入場料が1人100ドルと聞いてびっくりしてしまいました。昔、同じ遊牧民のマサイ族と連合を組んでいたのですが、悪しき風習をマサイから教わったのだとガイドは言っていま

した。

2泊して次はアバディア国立公園へ。途中赤道を通過します。記念塔を土産物屋が取り囲んでいます。観光客が止まる場所には必ず物売りがいます。彫刻やマスク、テープ、布製品など店の裏で作っているようなものを売っていますが、昔に比べると大変高くなっているように思います。値切ると3分の1くらいにはなるようですが良いものはまけません。かなり強気です。アバディアは2600メートルほどの高地にある森林国立公園です。

麓のレストランなどのある管理事務所まで大型バスに乗り換えます。観光客のみの集団でガイドとはお別れです。細い山道を登り着いたロッジはほんとの山小屋風で動物の大きな水飲み場になっている湿地に面しています。真夜中に枕元のベルが鳴ります。寒さに震えながら部屋を出て展望バルコニーに行きますと、シロサイやバッファローなどが見られます。肉食獣はいません。急斜面の森の中を象の集団が通るのが見えました。象は草原にいるとは限らないのです。

翌日はナクル湖に向かいます。ここは大きな塩水湖でフラミンゴの大集団が見られることで有名です。以前より減っているということで残念ながら我々は千羽単位くらいしか見られませんでした。湖の回りは森になっていてクロサイやバッファロー、ロスチャイルドキリンやエランドといって大型草食動物がたくさんいます。ロッジは石造りのコテージが散在して感じがよいのですが欠点はヒヒ（パブーン）が多いということです。子供たちが前庭で遊ん

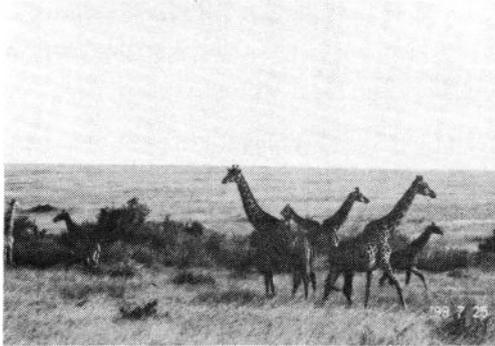


ナクル湖畔のクロサイとバッファロー

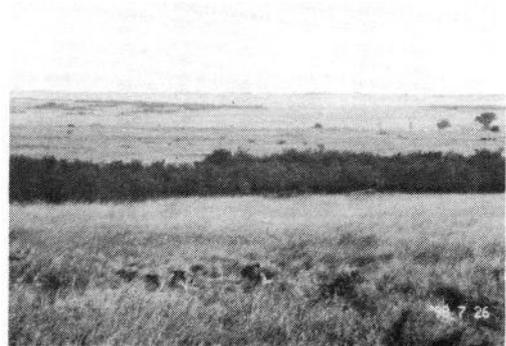
でいた時、向こうから1匹のヒヒがのしのしやってきました。これは大変と早く部屋に入るように子供たちをせかしましたが、意外とヒヒは足が早く長男と異常接近してしまい、わっと手を出されてしまいました。長男は大仰天です。なだめすかしてロッジのレストランに昼食をしに行きます。明るいい日差しのベランダで食事していると突然屋根伝いにヒヒが乱入して、皿のパンをつかみさらにむかってきます。みんな大騒ぎです。私はフォークや皿で立ち向かいますが、ヒヒも負けませ

ん。あちこちからボーイがやってきて椅子をかざしたりしてようやくヒヒは退散です。よくあることらしく、その後の食事中はボーイたちがあちこちの屋根に登って見張りをしていました。ヒヒ騒動のためか長男は調子を崩して発熱、夕食も食べません。

翌日はいよいよ動物の宝庫、マサイマラ国立公園へ。しかし、大変な悪路です。途中で車が故障して走れなくなってしまいました。心配していると同じようなサファリの車をとめます。全然知らない運転手だそうですが、こうした場合には乗せてもらえることになっているのだそうです。ドイツあたりからの観光客で、その間に座りますので握まる場所がありません。パウンドに次ぐパウンドでもうこれは死んじゃうと思う頃に到着。草原の1本道の途中に突然ゲートがあらわれます。そこが公園の入り口です。もちろん柵などありませんが、管理官がいて入園料を徴収します。マサイマラはマサイの土地という意味ですが、マサイの部落は周辺に多いようです。やはり中だと肉食動物がいて家畜を食べられるからでしょうか。大阪府ほどの広さだそうですが、ロッジが10軒ほどあるだけであとは動物だけの大草原です。動物の種類と数からいってケニアで1か所だけサファリにいくとすればここでしょう。



広大なマサイマラのマサイキリン



マサイマラのライオンファミリー

マラ・シンバ・ロッジという所で滞在。どこでもガイドは彼ら専用のやや安普請の別のロッジに泊まります。ここでもコテージは最高です。部屋からは双眼鏡で遠くの動物が見られます。レストランは高床式のざっくばらんな開放的なつくりで、きちんとした対応のボーイ達が給仕してくれます。正装したマサイの伝統的な歌と踊り（といってもジャンピングという歌いながら高くジャンプするだけのもので、より高くジャンプできるものが優秀という意味があるそうです）があり、その後席の回りを練り歩く時には従業員も一緒になっておおいに盛り上がります。

翌朝は早くから車ででかけます。トムソンガゼルという小さいシカ、シマウマ、ヌー（ウシカモシカ）の集団が最もよく見られます。当然ながら肉食動物の回りには草食動物はいません。ライオンはたいがい集団でいますが、なかなか見つけられません。運転手は必死で探しますし、運転手同士で情報交換したり、居所をよく知っている運転手の車の後をついていきます。草原の中に疎林がありグラントガゼルを食べている数頭を見つけました。ライオンは我々の車を迷惑そうにしています。そのうちあちこちから十台以上も集まってきてライオンを取り巻きます。チータやヒョウはもっと見つけにくく、それぞれ1回だけでした。さんざん探し回った揚げ句にチータが1匹ゴロゴロしているのを発見。だいたいおなか一杯の動物は人間などは無視してひっくり返っているのが普通です。ライオンなども大変みっともない格好をしています。たちまちサファリの車がわっと

やってきて取り巻きます。写真を2~3枚撮っていると突然運転手がなにか叫んだかと思うと車を全速力で回転させ、猛烈なスピードで走らせます。他の車もそれぞれ蜘蛛の子を散らすといったふうです。ガイドに聞きますと国立公園では道のはっきりしている所以外は入ってはいけないのですが、そこに公園のレンジャー（監督官）の車がやってきたのだそうで、見つかると大変な罰金なのだそうです。そういえばそこは道がはっきりしないのでした。レンジャーは大変目がよく、車をチェックしてあとで宿泊しているロッジに現れますが、たいていはわいろがきくそうです。この季節には隣のタンザニアのセレンゲティという大草原からヌーが百万頭以上も大移動してくるのが見られるのですが、残念ながらこの時はまだ先発隊が来ているだけでした。

翌日は真っ暗なうちに起きてレストランで簡単な紅茶を飲みます。ケニアは昔イギリスの植民地でしたので今でも飲み物は紅茶で、ティータイムも必ずあります。小銃を持った護衛が付きます。動物に対応するのもそうですが、強盗もいるのだそうです。真っ暗な中をトラックで出発。漆黒の闇ですが、時々動物の眼が光ります。だいたい走ってフィグツリー・ロッジで降り次第に明るくなった草原を少し歩きますと、鮮やかな赤やオレンジや青に塗られたバルーンが広げられています。今日はバルーン・サファリです。ジンバブエから出稼ぎに来ている白人操縦士の指揮のもと、バルーンの穴にガスボンベから炎が吹き込まれますと、次第にバルーンは浮き上がるのを助手たちが綱を引っ張っています。さあ、早く乗ってといわれ、皆あわてて籠に飛び込みます。籠は2×3メートルくらいのもので命綱もないのですが、怖いことは少しもありません。バルーンはぐんぐん上がっていきます。ガスの炎を時々吹き出して上ったり下ったりしながらどんどん飛んでいきます。空高くからマサイマラの大草原を見渡すと、ヌーの列や象の集団がよく見られますが迫力がありません。むしろどこまでも続く草原の果てしなさそのものに圧倒されてしまいます。高度をどんどん下げて、さあ身体を縮めてといわれてすぐ籠は地面にどんと着きつるづる引っ張られて横倒しになります。そこにトラックがやってきて、マラ川のそばでカバの行水を観察。その後は小高い丘に椅子テーブルを設営して、シャンパンで乾杯。コックがオムレツなどを作ってくれます。どの公園にも必ず動物の来ない安全なエリアがあって、そこでだけは車から降りることができます。

子供たちはロッジではすることがありません。ゲームボーイが大活躍です。飛行機の中でもこれは親にとっても助け船です。ホントは家族での旅行中にゲームなんてとんでもないのですが、子供を一日中好奇心の塊にしておくのはなかなか困難です。

サファリ中は実にいろいろな動物に会えました。ビッグ・ファイブという象、サイ（クロサイ、シロサイ）、ヒョウ、ライオン、バッファローにも会えました。ガイドが記録してくれましたが、鳥はいれないでなんと38種類でした。野生動物が年々減少していて必ずしも満足のいくサファリにはならないことも多いのだそうです。会員の皆様もお早目に行かれることをお勧め致します。



「徒然草」 兼好法師

松原貞一

元々学生時代から文系には弱い方であったが、本を読むのは嫌いではなかったのが、西多摩医師会60周年記念誌の趣味の項に、ついとかウツカリとか「読書」と書いてしまったのが広報編集部の目に止まり、「私の一冊」という題で随筆をといて破目になってしまった。

読書は好きであったが、生来がいい加減なほうで熟読精読の類は苦手であり、専ら流し読み専門、面白く無い所はすぐ斜めに流してしまうので、読んだ読んだといっても大意をつかむのが精一杯で、忘れる方は天下一品、同じ本を二度も三度も買ってきたりする始末。そういう訳で読んだことを忘れて二度読んだ本もないことはないが、あの感動をもう一度と二度三度読んだ本はそう多くはない。そう多くない中で、『徒然草』は少なくとも三度は読んだような記憶がある。それも古典随筆とあって流し読みという訳にはいかず、解説書も見ながらの精読である。事の初めは大学受験の国語古文の中にあっただのではないかと思うが、その後不思議と人生のひと段落する度に、読み返したような記憶がある。

近頃はヤレ携帯だインターネットだと分秒を争うような強迫観念に追いまわられて、つれづれなるままに…などという気分になれないのが現実である。

【つれづれなるままに、日ぐらし硯に向かいて、心にうつり行くよしなきごとをそこはかたなく書きつくれば、あやしうこそ物狂おしけれ】

なんともノンビリした時代で懐かしいではないですか。作者の兼好法師は弘安六年（1283年）日蓮の死んだ翌年に生まれ、若い時は宮廷に仕えていたらしいが、三十代に出家し洛西双ヶ岡の麓に庵を結んで徒然草を書いたとある。

人生は迷いの歴史である。かのハムレット

でさえ「永うべきか死すべきか」と悩んだというではないですか。ましてや凡夫たるもの、ああでも無いこうでも無いと悩むが常、そこで思い出すのが徒然草。二百何段かある中の九十八段である。

【しやせまし、せずやあらましと思うことはおようせぬはよきなり】

には随分とお世話になったように思う。決断がつかない時は止めた方が良いということで、人生思い悩んで進むべきか引くべきか決め兼ねた時、頼りになるのが諺格言の類。若い頃はどうしても決心がつかぬ時は、とりあえず止めることにしていた。ところが還暦過ぎる頃になって残りの人生時間が無いことに気づき、しようかしまいかと迷う時には、とりあえず「するがよきなり」と兼好に逆らい生き方の方針を変更した。やっても後悔止めても後悔なら、前者を取ろうというのである。

【人死を憎まば生を愛すべし。生を楽しまざるは死を怖れざる故なり。死を怖れざるにあらざり死の近きことを忘るるなり】
有終の美とあって、良き人生は良き死によって完結するという。人生常に死ぬことを考えていれば、人はもっと人生を楽しみ大事にするはずであるのに、人が人生を大事にしないのは、死を恐れないのではなく、自分が死ぬということを忘れているのであるという。ご尤もな話である。

【もし人来たりて我が命明日は必ず失はるべしと告げ知らせたらんに、今日暮るる間何事かを楽しみ何事かを営まむ】
一日一生である。明日は無きものと思えば、今日一日もっと大事にする筈であると、順々と説き進めている。

【住みはてぬ世に見にくき姿を待ちえて何かはせむ。命永ければ恥多し。永くとも四十に足らぬほどにて死なんこそ、めやす

かるべけれ」

四十代頭もシッカリして体力もある時に死と取り組めば、良き死が逃げられ有終の美が果たせると仰せられるのである。いくら何でも四十代は少し早いんじゃないですかと言いたい所であるが、二百何段かある中の七段目である。三十代から書き始めたという兼好さん、その頃本気でそう思っていたのかも知れ

ない。しかし兼好が死んだのは七十過ぎてのこととか、恥多くして長生きを悔やんだかどうかは知る由も無い。

中国では文化大革命後孔子の論語も批判の嵐という。時移れば人の考えも変わり徒然草にも異論の無いことはないが、死ぬまでにもう一度読んでみたい本ではある。

新入会員紹介

梅郷診療所 江本 浩 会員

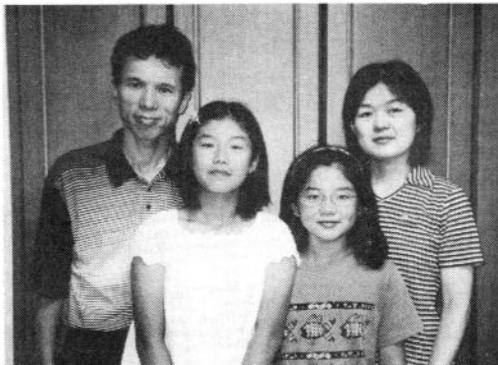
この度、西多摩医師会のA会員となりました江本浩です。亡父虎雄の跡を継ぎ、8月1日より梅郷診療所の管理者となりました。医師会員の皆様には父の葬儀に際しまして、大変暖かいお心遣いを頂戴致しましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

私は昭和59年に日大を卒業後、駿河台日大病院循環器科に入局、平成8年4月より公立阿伎留病院循環器科に勤務しておりました。その間16年間にわたり冠動脈疾患のインターベンション治療を専門に取り組んでまいりましたが、今後はプライマリーケアという役割分担で地域医療に貢献したいと思っております。

家族は妻（睦美）と娘2人（あさみ中学1年、かおり小学5年）で、家族旅行が何より

の楽しみです。唯一の趣味は幼い頃から父に習ったゴルフで、大学時代にゴルフ部で修業し、現在も競技として続けております。

新米開業医で、わからないことだらけですが、皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。



林レディースクリニック 林 博昭 会員

この度、西多摩医師会に入会を許されました、林^{はやし}博昭^{ひろあき}と申します。

9月1日より東青梅3丁目（市役所の裏側）に林レディースクリニックを開設致しました。昭和53年卒業後、昭和56年6月より、平成7年3月まで青梅市立総合病院産婦人科に勤務しておりました。開業するにあたり、今年の1月1日より禁煙を決意。現在まで順調に実行されていますが、体重が5kg増えてしまい今度はDietを思案中です。趣味は絵画鑑賞、ドライブと至って平凡です。

家族構成は妻と娘2人です。

妻：三千代（大切な人生のPartnerです）

長女：香織（高校1年生）

次女：友香（中学2年生）

今後微力ですが、地域医療活動、医師会活動に協力できれば幸いです。



文芸随筆諸事百般

盛 夏 鹿野純 一

炎天の緑の茂みのさるすべり
桃色の花日射しに映える

駅前にそびえる緑の大木は
何十年の世情見おろす

かるがもの親子プールの引越して
作業の苦労ほほえまじきかな

お隣の夫人の草取り片手には
蚊取り線香持ちてやるわざ

夏盛りスポーツ熱戦くりひろげ
テレビ見るだけ体が弱る

アカシアに赤花咲くと思う人
冗談でなく思いちがいがい

B C G 説明書を読みかえし
意外に目的違う衝撃

地区だより

青梅地区

第 1 回青梅心電図勉強会のご案内

先生方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度青梅地区を中心に心電図の勉強会を行うことといたしました。

心電図、特に不整脈についての症例検討を中心とし、また日常先生方が経験された症例での疑問点等があれば検討を重ねさらに病診連携の強化を通じ、より良い治療を提供していくことを目的としております。ご多忙とは存じますが、ご参集の程よろしくお願い申し上げます。

記

日 時：平成12年10月4日（水） 19時30分～

場 所：青梅市立総合病院 南棟3F講堂

1. ミニレクチャー 青梅市立総合病院 坂本保己 先生
2. 心電図症例検討（興味ある症例、あるいはお困りの症例等ございましたら、心電図、患者プロフィール等をお持ちください。こちらで当日OHPを作成し提示いたします。）

世話人：坂本保己 大友建一郎（青梅市立総合病院）

田中穂積 細谷純一郎 野本正嗣

ご出席された先生には、日本医師会生涯教育講座参加証明書が交付されます。

また勉強会終了後20時40分より発足記念の懇親会を新棟6Fレストラン（エスポール）にて行います。（会費 1,000円）

（田中穂積）

羽村地区

納涼会 (東京湾サンセットディナークルーズ)

羽村市医師会恒例の納涼会が7月29日(土)行なわれ、今回は東京湾サンセットディナークルーズとしゃれこみました。数日前より心配された台風も、気を効かせて進路を変えてくれ、暑いながらも絶好のクルージング日和となりました。

チャーターバスで日の出棧橋まで行き、4時半出航の3000tの豪華客船に乗り込み、最上階の専用デッキ付きの特別室に陣取り、刻々と傾く夕陽を背景にレインボーブリッジ、お台場、羽田空港を過ぎ、海ホテルの向こうにはるか木更津までも望める絶景を楽しみました。

仏料理のフルコースに特注したシャンベルタンのワインが心地よい船の揺れとともに、夢見心地にさせてくれ、「これで5年は寿命が伸びました」とは、ある先生の弁。

(ちなみにこの特別室は、プレイボーイで有名なH.K君がクリスマスに、女性タレントのU.A嬢を誘った部屋とか、是非有志はお試しあれ)

2時間余りのクルージングは、あっという間にすぎ、楽しい思い出を胸に帰路につきました。

(横田卓史)



各部だより



学術部

Information



《 9 月 》

西多摩医師会学術講演会のご案内

③ 日 時：平成12年9月20日（水）

場 所：西多摩医師会館

演 題：『浮腫性疾患の病態と治療』

国民健康保険連合会福生病院 院長 中 谷 矩 章 先生

共催：富山化学工業（株）

④ 日 時：平成12年9月27日（水）

場 所：西多摩医師会館

演 題：『パニックディスオーダーの診断と治療の最近の進歩』

杏林大学保健学部精神保健学講座 教授 田 島 治 先生
医学部 精神神経科兼任 教授

共催：スミスクラインビーチャム製薬（株）

〈学術講演会聴講メモ〉

平成12年9月4日（月）

演題：「糖尿病性神経障害の診断と治療について」

講師：順天堂大学内科・代謝内分泌学 田 中 逸 先生

1. 糖尿病性末梢神経障害の診断におけるポイント

糖尿病性末梢神経障害を積極的に診断することは困難な場合が多く、問診が重要なウエイトを占める。問診上留意すべき点は次の4点である。1) 既往歴：職歴（有害物質の影響）、大量飲酒歴（アルコール性神経障害）、外傷や骨折（後遺症）、整形外科的疾患（ヘルニアや変形性関節症など）、他の内科的疾患（代謝疾患、悪性腫瘍など）、長期連用薬剤（薬剤性神経障害）などを確認し、糖尿病以外の原因による可能性を除外する。2) これまでの血糖コントロール状態：長期不良コントロール例、糖尿病放置例、高血糖と低血糖を繰り返す

動揺の激しい症例では発症リスクが高い。3) 急速な血糖コントロールの有無：急速な血糖コントロールや急激な体重変動の後には治療後の疼痛（Post-treatment neuropathy）と呼称される糖尿病性痛性神経障害を起こすことがある。4) 痛みの部位と種類：通常はしびれや痛みは下肢遠位部から両側性、上向性に拡大すると同時に上肢遠位部にも出現する（対称性多発性神経障害）。片側性に出現したり、体幹部、近位部のみに障害があることもあり、その場合は単一神経障害や多発する単一神経障害を考慮する。また、痛みの種類から障害部位の深度がある程度推測出来ることがある。問診と身体所見の評価後、鑑別を行う上で種々の検査を計画する。すなわち、1) 各種画像検査や電気生理学的検査（針筋電図検査や神経伝導速度検査）などにより整形外科、脳神経内科的疾患との鑑別を行い、2) 末梢動脈拍動の左右差の有無や、上下肢の血圧比、血管ドップラーエコー検査、サーモグラフィ検査などから動脈硬化症や血行障害の有無と程度を評価する。以上から総合的に糖尿病性神経障害の診断を行う。

2. 治療の実際

治療の基本はあくまで血糖コントロールの改善である。痛みやしびれは血糖コントロール改善からやや遅れて次第に改善してくることが多い。糖尿病性神経障害の治療に使用される薬剤として、アルドース還元酵素阻害剤、エパルレスタット（商品名、キネダック）が第一選択薬として用いられる。同剤はアルドース還元酵素を律速段階とするポリオール代謝経路の亢進を是正し、神経組織内のソルビトール含量亢進や $\text{Na}^+ - \text{K}^+$ ATPase 活性低下を正常化させることにより神経症状を改善すると考えられている。また、ビタミンB12製剤は神経組織の修復作用があり、痛みに対する速効性はないが、中等度以下のしびれには有効である。急速な血糖コントロール後に発症する治療後の疼痛は血糖コントロール安定後、次第に改善してくるが、それまでの期間は痛みに対する対症療法を行う。一般的に非ステロイド系消炎鎮痛剤（NSAID）は痛みの強い場合には必ずしも有効ではない。その場合には塩酸メキシレチン（商品名、メキシチール）を使用する。同剤はもともと抗不整脈剤であるが心筋伝導障害のない例には非常に有効である。副作用として胃腸障害や不整脈、血球減少、電解質バランス異常などに注意する。また、3環系抗うつ剤やセロトニン5-HT_{2A}受容体拮抗剤なども有効である。いずれの薬剤も血糖コントロールとともに痛みが改善、消失した例では漫然と継続せずに中止すべきである。

（文：田中 逸）

西多摩医師会主催

市民健康講座

TBSラジオ「大沢悠里のゆうゆうワイド」でおなじみのフリーアナウンサー大沢悠里氏を講師にお招きし、市民健康講座講演会を開催致します。貴施設のスタッフの方々、ご家族の方々にもご案内いただき、皆様お誘いあわせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

題名：「明るく元気にイキイキと」

講師：大沢悠里氏

日時：平成12年11月18日（土）

PM 2:00 ~ 3:30

会場：羽村市コミュニティセンター

3階ホール（羽村市役所隣）

受講料：無料

事務局：西多摩医師会 TEL 0428-23-2171

*大沢悠里氏経歴

1964年、早稲田大学法学部卒業、TBS東京放送入社、入社後5年間、報道番組を担当、その後、主にラジオをメインに歌謡番組を担当する。1993年、アナウンス部長を最後に独立、現在、フリーアナウンサーとして活躍中。

現在放送中の番組：『大沢悠里のゆうゆうワイド』（TBSラジオ、月～金、朝8時半～1時）

*尚、出席される施設は、予め、参加希望人数を西多摩医師会事務局まで電話にてお知らせ頂ければ幸いです（TEL 0428-23-2171）。

いのち
「生命を見つめる」
フォトコンテスト

作品募集

日本医師会と読売新聞社では
 生命の大切さを考えてもらうきっかけになればとの願いから
 昨年に引き続き
 「生命(いのち)を見つめる」というテーマで
 作品を募集します。
 テーマに沿うものであれば
 生きとし生けるものすべてが被写体となります。

【審査委員】

田沼武能(日本写真家協会会長)、椎名誠(作家)、
 織作峰子(写真家)、ロザンナ(歌手)ほか(敬称略)

【賞】

- 最優秀賞 1点= 30万円
- 優秀賞 3点= 10万円
- 入選 5点= 5万円
- 佳作 20点= 図書券5千円分

【応募規定】

- 応募作品は、本人が撮影した未発表作品に限ります。
- 作品は、キャビネ判のプリントのみとさせていただきます。
 組写真は不可。
- 一人3点までに限らせていただきます。
- 肖像権やプライバシーの侵害には十分にご注意
 ください。主催者では責任を負いかねます。
- 作品は返却いたしません。
- 入賞作品の著作・使用権は1年間、
 主催者に帰属します。
 (ネカは1年間当方で保管し、その後返却いたします)
- 上記規定に違反した場合は、
 受賞を取り消すことがあります。

【締め切り】

2000年11月22日(水) 必着

【入賞発表】

2001年2月上旬、読売新聞紙上で

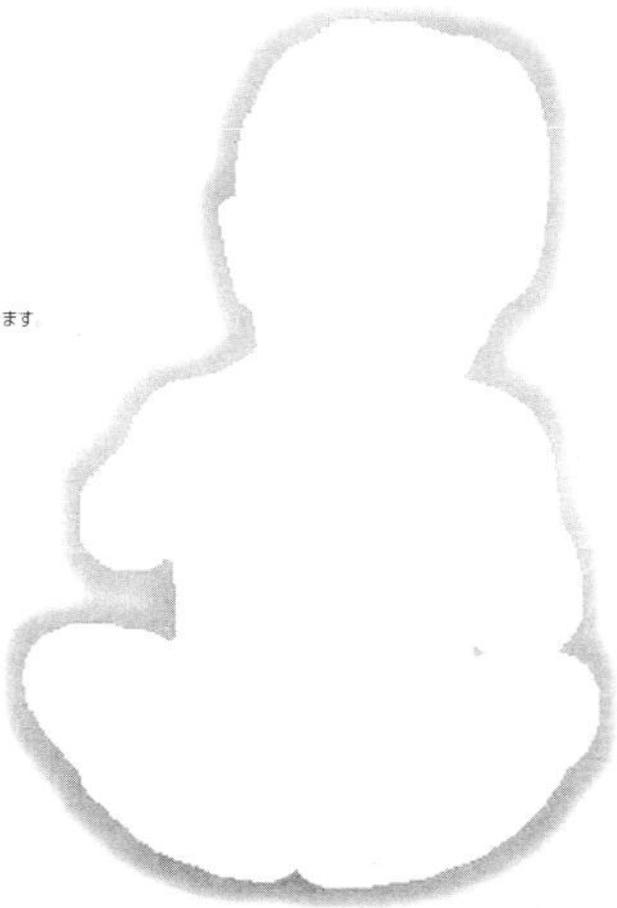
【表彰式】

2001年2月中旬、東京都内にて。

【送り先】

〒135-8438 読売新聞社事業開発部
 「フォトコン」係 (TEL03-5245-7093)

※写真の裏に、タイトル、撮影年月日、住所、氏名、生年月日、
 職業または学校名、電話番号を明記した紙を貼って下さい。



主催 日本医師会・読売新聞社

「室内楽ふれあいコンサート」へのお誘い

この度、西多摩医師会主催で下記の如く「室内楽ふれあいコンサート」を企画いたしました。これは、医師会が一般市民を対象に、社会福祉活動の一環として行うものです。

特に、会員の先生方には日常診療のお疲れを、超一流の演奏者の音楽で癒していただければ幸いに思います。是非とも、ご家族・従業員の方々をお誘いの上、秋の夜をやさしい音色

社団法人 西多摩医師会主催

『室内楽ふれあいコンサート』

— 心の耳に感動を —

日 時 平成12年10月26日(木) 午後6時00分開場
午後6時30分開演

会 場 福生市民会館大ホール
福生市福生 2455 TEL 042-552-1711

入 場 料 無 料

演 奏 者 ハンス・ピツカ氏(ホルン) …ドイツの代表的奏者

近藤 良氏(クラリネット)

白沢 暁子氏(ピアノ)

プログラム(予定)

ホルンとピアノの為の叙情的小品

J. S. バッハ作曲「主よ人の望みの喜びよ」

C. ライネッケ作曲 三重奏曲 変ロ長調 Op. 274

申込方法 往復葉書に住所・氏名・電話番号・参加人数を記入し、
返信用に申込者の住所氏名を必ずご記入の上、下記へ
お申し込み下さい。

〒198-0044 青梅市西分町3-103

西多摩医師会「コンサート」係

インターネットでもお申し込みできます。

E-mailアドレス ishikai@hkr.ne.jp

でお楽しみ下さい。

尚、先生方のお申し込みは、電話・FAXでも受け付けておりますので、西多摩医師会事務局 (TEL. 0428-23-2171、FAX. 0428-24-1615) までご連絡下さい。

〈演奏者プロフィール〉



ハンス・ピツカ (Hans PIZKA) 氏 (ホルン)

1942年、オーストリアのホルン教授の息子として生まれる。

1963年、ウィーン国立音楽大学卒業後、数々のオーケストラで活躍、現在に至るまで30年以上バイエルン国立歌劇場管弦楽団の首席奏者を務め、カラヤン、ベーム等、歴代の偉大な指揮者と共演する。

現在、ドイツの代表的ホルン奏者で、ソリスト、研究者、国際ホルン協会評議員として国際的に活躍している。



近藤 良氏 (クラリネット)

大阪芸術大学卒業後、ドイツ、ケルン国立音楽大学に留学、クラリネットをH. D. クラウス氏に、室内楽をアマデウス四重奏団に師事。

1983年、ケルンにてアマデウス四重奏団のチェリストであるマーティン・ロヴェット氏の共演を得てデビュー、以後、室内楽奏者として国内外で演奏活動を行っている。



白沢暁子氏 (ピアノ)

東京芸術大学卒業後、同大学院修士課程終了。

ドイツ、シュトゥットガルト国立音楽大学芸術家養成課程卒業。

ピアノを、安川加寿子、多美智子、高良芳枝、リディア・コズベック、ゲルト・ローマイアーの各氏に、また、室内楽を近藤良氏に師事。

現在、洗足学園大学において後進の指導にあたるかたわら、国内外の優れた音楽家達との共演等、ソリスト、室内楽奏者として演奏活動を行っている。



後 援 青梅市・福生市・あきる野市・羽村市・瑞穂町・日の出町
奥多摩町・檜原村
同市町村社会福祉協議会・多摩川保健所・秋川保健所

● **理事会報告** ●

★ Information ●

7月定例理事会

平成12年7月25日

西多摩医師会館

【1】 報告事項**1. 都医地区会長協議会報告****I. 都医からの伝達事項****(1) 日本医師会認定産業医制度における研修会の開催について**

H. 12. 8月より、11月までの産業医研修会について

(2) 介護給付費の6月審査会に係る返戻明細書（エラー分）の取扱いについて

4月分に続いて5月分の介護給付費についても請求額の9割に相当する額を7月24日に支払うこととした。

(3) 介護保険主治医資料及び居宅療養管理指導内容について

主治医の意見書を書く際にこの資料を参考にしてもらいたい。

特記事項には介護の必要の程度に関して具体的に記入するように。

又、居宅療養管理指導内容についても参考にしてもらいたい。

(4) 平成12年国勢調査への協力方について

3ヶ月以上入院又は入所している場合には、その病院又は施設において調査することになるので協力してもらいたい。

(5) 日本医師会医師年金事業の普及運動の実施について

未入会者に加入してもらうようご協力をお願いしたい。

(6) 東京都医師会学校医会第3回学校医研修会について

9月9日（土）午後2時（於）都医

出席義務者は出席されるようお願いする。

(7) 医療機能実態調査に係る協力について

このアンケート調査に協力してもらいたい。

(8) 中医協の医療経済実態調査について

H. 11. 6に実施したものをH. 9. 9と比較している。

（H. 12. 6月発表したもの）

(9) 「元気がいいね」について

公共施設に配布してもらいたい。

Ⅱ. 協議事項

なし。

Ⅲ. 地区医師会からの報告

(1) 練馬区医師会のシンボルマークについて (練馬区医師会)

(2) 練馬区医師会防災無線設備の設置について (練馬区医師会)
(コールサイン JO1ZKW)

Ⅳ. その他

(1) 介護保険ニュースについて

(2) 介護保険制度のパンフレットについて

2. 各部報告

(学 術 部) 市民健康講座 (11月18日) 講師 大沢悠里先生に決定。

(総 務 部) 納涼の夕べ収支報告 —— 承認 ——

(産 業 医) 7月29日 (土) の本会産業医研修会開催に出席協力を願いたい。

3. 各地区会よりの報告

(各地区長)

(青 梅) なし。

(福 生) なし。

(羽 村) なし。

(あきる野) 阿伎留病院建設計画について。

(瑞 穂) 7月18日 地区会。介護保険認定審査会の委員について協議。

(日の出) なし。

4. その他

なし。

【2】 報告承認事項

1. 入会会員について

—— 承認 ——

梅郷診療所の入会金については、親子の事業継承と認め、入会金は半額とした。

【3】 協議事項

特に議題なし。

お知らせ

事務局より お知らせ

平成 12 年 10 月 (9 月診療分) の

保険請求書類提出

10月7日(土)

—— 正午迄です ——

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第二水曜日午後二時より実施しておりますのでお気軽にご相談ください。

- ◎相談日 **9月は13日(水)**
10月は11日(水) の予定です。
- ◎場 所 西多摩医師会館和室
- ◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙のことば

鮎釣りの太公望が岩を飛び越えそこねて怪我して来院しました。彼、曰く、「球磨川の鮎は大きいあまりうまくない、五木のは、水がきれいで苔がすばらしく天下一品だ」。講釈付きで、五木の鮎を10匹ほどもらいました。味が落ちないうちにと、急いで水彩で描きました。姿も味も最高でした。

稲垣壯太郎

あ と が き

青天の霹靂とは突然におこる変動、起こりえないことが起きることとあります。

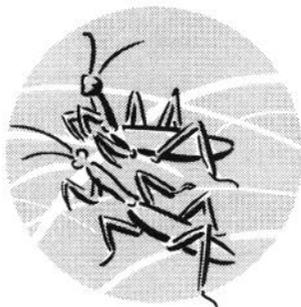
原発での臨界事故、某病院での手術患者の取り違い、政治家、官僚そして警察官の不祥事、地下鉄日比谷線でのレールの削り過ぎ、保健所での食品検査ミスによる多大な損害、また雪印乳業事件など、種々の呆れ返ることが、日替わり弁当のごとく報道されております。これらは何で発生するのでしょうか、ミスとは何でしょうか。はたまた今では、『あたりまえ』の事なののでしょうか。

戦後、マッカーサー元帥が日本に上陸した時に、50年かけて、この実直、勤勉なる民の精神構造を変える、文化を変革すると言ったとか、言わないとか？その真意は明確ではありませんが……

いづれにしても、他人に迷惑をかけないこと、可及的に自己責任はとることと、恥の認識を持つ事、厚顔無恥にはならないようにありたいものです。すべては当たり前の事ではありますが。

また古来から、習うより慣れろの言葉がありますが、慣れによる思わぬ落とし穴には、常々気をつけたいものであります。

清水佐和道



社団法人 西多摩医師会

平成12年9月1日発行

会長 宮川栄次 〒198-0044 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428 (23) 2171 ・ FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 森本 晋

石井好明 神尾重則 片平潤一 込田茂夫
清水佐和道 高水松夫 田村啓彦 細谷純一郎

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047 ・ FAX 0428 (22) 9993

健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……
(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659

R
RETAIL BANK
あさひ銀行



あさひ銀行

あなたの街の
あさひです。

東青梅支店 TEL.0428-22-2121代 〒198-0042 青梅市東青梅2-17-4
奥多摩特別出張所 TEL.0428-83-2515代 〒198-0212 西多摩郡奥多摩町水川1421
青梅支店 TEL.0428-22-1101代 〒198-0082 青梅市仲町295
河辺支店 TEL.0428-24-2401代 〒198-0036 青梅市河辺町10-2-9
福生支店 TEL.042-551-1021代 〒197-0011 福生市福生1048
村山支店 TEL.042-561-1211代 〒208-0001 武蔵村山市中藤4234
あきる野支店 TEL.042-558-2611代 〒197-0831 あきる野市秋川2-18-3
羽村支店 TEL.042-579-0881代 〒205-0011 羽村市五ノ神4-13-10
五日市支店 TEL.042-596-1311代 〒190-0164 あきる野市五日市840-1

うれしい
明日が
見えてくる。

夢にあふれた素敵な星の王子様トフィーラーと犬のルーラーが、たましん総合口座のキャラクターとして人気上昇中。総合口座通帳はじめ、キャッシュカード、2wayカード、定期積金100通帳などで大活躍です。トフィーラーと一緒に夢のある暮らしをはじめましょう。

TOFFEEEROO
© 1993 NEW SANKYO CO. LTD.
Adrift in a sea of stars,
I could float forever...
Comets tickling my toes...

各県のマイリンク
たましん
多摩中央信用金庫

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します

臨床検査のパイオニア
保健科学研究所

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)